

教科名 振り返り講義①

責任者名 中井久美子

学期 前期

対象学年 3学年

授業形式等 講義

◆担当教員

川戸貴行 衛生学 教授
田中秀樹 衛生学 准教授
中井久美子 衛生学 専任講師
林良憲 生理学 准教授
人見涼露 生理学 准教授
坪井美行 生理学 専任講師
鈴木直人 生化学 教授
田邊奈津子 生化学 准教授
津田啓方 生化学 准教授
高橋富久 解剖学Ⅰ 教授
山本安希子 病理学 准教授
福井 怜 病理学 専任講師
角田麻里子 病理学 助教
小泉寛恭 歯科理工学 教授

◆一般目標 (GIO)

第2学年で学んだ事項を第3学年以降の科目の履修の基礎とするために、歯科学に関する知識の総合的な理解を深め、身につける。

◆到達目標 (SBOs)

特に共用試験で必要となる学修事項について格段の学力向上を図り、試問に対応できる。

◆評価方法

- ・振り返り講義試験①(前期の定期試験期間に実施) 試験範囲は前期の振り返り講義の第1回～第28回とその関連事項。
- ・振り返り講義試験②(後期の定期試験期間に実施) 試験範囲は後期の振り返り講義の第1回～第14回とその関連事項。
- ・各試験において、得点率が50%に達しない場合は、当該試験ごとに再試験を実施する。
- ・再試験を受験した後においても、2つの試験のうち、いずれか一方でも得点率が50%に達しない場合は、当該年度の「進級判定及び単位認定の特例」の対象外とする。
- ・得点率は小数点以下を切り捨てて算出する(第1位を四捨五入しない)。

◆オフィス・アワー

担当教員 中井 久美子

対応時間・場所など 月曜日 16:00～17:00 衛生学講座(本館7F)

メールアドレス・連絡先 nakai.kumiko10@nihon-u.ac.jp

備考

◆授業の方法

第2学年で履修した科目の学修事項を、公的試験における試問の視点で講義形式で復習する。また、適宜、第3学年で履修中の科目との関連性を確認しながら講義を行う。なお、各講義内容についての質問はその授業担当者によること。

◆教材(教科書、参考図書、プリント等)

教科書1 新編 衛生学・公衆衛生学、安井利一、他、医歯薬出版株式会社
教科書2 口腔衛生学 2024、福田雅臣、他、一世出版株式会社、
教科書3 基礎歯科生理学、第7版、岩田幸一 他、医歯薬出版、
教科書4 スタンダード生化学・口腔生化学、第4版、荒川俊哉 他、学建書院
教科書5 人体解剖学、第42版、藤田恒太郎、南江堂
教科書6 病気が見える 免疫・膠原病・感染症、第2版、森尾友宏 他、メディックメディア
教科書7 スタンダード歯科理工学、第8版、米山隆之他、学建書院

◆DP・CP

コンピテンス4: 歯科医学および関連領域の知識
コンピテンス: 4-2, 4-3, 4-4.4-6, 4-7, 4-8, 4-9
コンピテンス8: 生涯学習
コンピテンス8-1
対応するディプロマポリシー: DP3, DP4, DP8

◆準備学習(予習・復習)

予習では各授業回の学修項目に該当する教科書や配布資料に目を通して用語などを確認しておくこと。
復習では講義で振り返った事項について理解に至っていない事項を洗い出し、担当教員への質問などによって解決するとともに、振り返り講義試験①に向けて要点を整理すること。

◆準備学習時間

授業時間半分相当を予習あるいは復習の目安とし、自身の理解や知識の定着の度合いに応じて調節すること。

◆全学年を通しての関連教科

衛生学1、2(2年前期・後期)
生理学2(2年後期)
生化学2、3(2年前期・後期)
解剖学(2年前期・後期)
病理学1(2年後期)
歯科理工学1、2(2年前期)

◆予定表

回	クラス	月日	時限	学習項目	学修到達目標	担当科目 担当教員	R4年度版コアカリキュラム
1	AB	4月6日	3	健康と予防の概念 教1)pp.3-5, 15,16, 教2)p.40 資料配布	<ul style="list-style-type: none"> WHOによる健康の定義から、健康の多面性を説明できる。 ICFモデルから健康と生活機能との関係性を説明できる。 疾病の自然史を図説できる。 予防の水準を疾病の自然史と関連付けて説明できる。 プライマリ・ケアとヘルスプロモーションを説明できる。 	川戸貴行	C 社会と歯学 C-4 健康と社会、環境 C-4-1 健康の概念と死の定義 C-4-1-1 健康、障害、疾病と死の概念を理解している C-5 予防と健康管理 C-5-1 疾病の自然史と第一次、第二次及び第三次予防を理解している C-5-3 プライマリヘルスケアとヘルスプロモーションを理解している
2	AB	4月6日	4	人口統計 教1)pp.47-58 資料配布	<ul style="list-style-type: none"> 主な基幹統計と一般統計を列挙できる。 我が国における人口静態統計、ならびに人口ピラミッド、年齢3区分別の割合・指数を説明できる。 我が国における人口動態統計、ならびに出生率、再生産率、死亡率、年齢調整死亡率、死因別死亡率を説明できる。 平均余命と平均寿命を説明できる。 母子保健関連指標の概念を図説できる。 歯科疾患実態調査と学校保健統計調査の調査概要と主な結果を説明できる。 	川戸貴行	C 社会と歯学 C-6 疫学及び保健医療統計 C-6-2 保健統計 C-6-2-2 主な保健医療統計(歯科疾患実態調査、国民健康・栄養調査、国勢調査、人口動態調査、患者調査、医療施設調査、医師・歯科医師・薬剤師統計、学校保健統計調査等)を理解している C-6-2-3 主な健康指標(平均寿命、平均余命、新生児・乳幼児死亡率等)を理解している
3	AB	4月13日	3	疫学 教1)pp.18-35 資料配布	<ul style="list-style-type: none"> 疫学要因の考えを三角モデルと車輪モデルで説明できる。 疫学指標(有病率、罹患率、相対危険度、寄与危険度、オッズ比)を説明できる。 観察研究(記述疫学、生態学的研究、横断研究、コホート研究、)と介入研究(ランダム化比較試験)を説明できる。 EBMのステップを説明できる システマティックレビューとメタアナリシスを説明できる。 エビデンスレベルを説明できる。 	田中秀樹	C 社会と歯学 C-6 疫学及び保健医療統計 C-6-1 歯科疾患の疫学 疫学と根拠に基づいた医療(EBM)を実践するために、その概念と応用法を理解する
4	AB	4月13日	4	齶齦の病因論と予防 教2)pp.152-156, 180-192, 273-293 歯周病の病因論と予防 教2)pp.156-159, 246-50 資料配布	<ul style="list-style-type: none"> 齶齦の発生要因(Keyesの3要因)と各要因に対応した予防法を説明できる。 フッ化物による齶齦予防機序(全身応用・局所応用)を説明できる。 フッ化物による齶齦予防法を使用するフッ化物の種類、濃度とともに説明できる。 小窩裂溝充填法による齶齦予防について説明できる。 歯周病の発生要因を説明できる。 	田中秀樹	D 臨床歯学 D-5 基本的臨床技能 D-5-1 歯科保健指導 歯科疾患の予防と口腔衛生管理を理解する D-5-1-1 主な歯科疾患(齶齦、歯周疾患、不正咬合)の予防を理解している D-5-1-2 齶齦予防における予防填塞及びフッ化物の応用方法を理解している D-5-1-5 歯科疾患のリスク因子を理解している
5	AB	4月20日	3	ブラークコントロール 教2)pp.306-316 資料配布	<ul style="list-style-type: none"> 物理的ブラークコントロールと化学的ブラークコントロールを説明できる。 歯ブラシの毛先または毛の脇腹を用いた歯面清掃(刷掃法)法を列挙し、それぞれの特徴を説明できる。 補助的清掃器具を列挙し、作用を説明できる。 歯ブラシの有害作用を説明できる。 歯磨剤と洗口剤の作用・効果を配合成分と対応させて説明できる。 	中井久美子	D 臨床歯学 D-5 基本的臨床技能 D-5-1 歯科保健指導 歯科疾患の予防と口腔衛生管理を理解する D-5-1-3 ブラークコントロールの意義と方法を理解している
6	AB	4月20日	4	歯科疾患の疫学指標 教2)pp.194-207 資料配布	<ul style="list-style-type: none"> 齶齦経験(DMF)を歯の臨床所見と対応させて説明できる。 齶齦の疫学指標(DMF者率、DMF歯率、DMF歯面率、DMFT指数、DMFS指数、RID指数)を説明できる。 歯周疾患の疫学指標(PMA指数、GI、CPI、PI、PDI、GB Count)を説明できる。 口腔の衛生状態の指標(OHI、OHI-S、PHP、PII、PCR)を説明できる。 	中井久美子	C 社会と歯学 C-6 疫学及び保健医療統計 C-6-1-3 歯科疾患の疫学的指標を理解している
7	AB	4月27日	3	口腔感覚・咀嚼・顎運動・嚥下・嘔吐 教3)pp.301-321, 356-412 資料配布	口腔、顎顔面領域の体性感覚と疼痛の発生・制御機構を説明できる。 下顎の随意運動と反射を説明できる。 吸嚥、咀嚼、嚥下の意義と制御機構を説明できる。 嘔吐反射と絞扼反射を説明できる。	人見涼露	A-3-1-6-2 体性感覚の受容体の構造と機能を理解している。 A-3-1-6-4 疼痛の種類、発生機序及び制御機構を理解している。 A-3-2-9 下顎の随意運動と反射を理解している。 A-3-2-10 吸嚥、咀嚼、嚥下の意義と制御機構を理解している。 A-3-2-11 嘔吐反射と絞扼反射を理解している。 A-3-3-9 口腔、顎顔面領域の体性感覚と疼痛の発生機序及び制御機構を理解している。
8	AB	4月27日	4	睡眠・体温・老化・発声 教3)pp.123-131, 265-271, 442-462 資料配布	発声と構音に関わる器官の構造と機能を説明できる。 体温調節の機序を説明できる。 口腔顔面領域の加齢変化について説明できる。	坪井美行	A-3-2-14 発声と構音に関わる器官の構造と機能を理解している。 D-2-3-3 血圧、脈拍数、呼吸数、体温の測定方法と異常所見を理解している。 D-5-7-1 高齢者の生理的、精神心理的及び行動的特徴(認知症を含む)を理解している。

9	AB	5月11日	3	味覚・唾液・大脳 教 3)pp.246-252, 322-341,426- 441 資料配布	味覚受容器の構造と味覚を説明できる。 唾液の性状、構成成分及び機能を説明できる。 唾液腺の構造、機能及び分泌調節機序を説明できる。 中枢神経系(高次脳、脳幹、脊髄)の構造と機能(運動機能、 感覚機能、高次神経機能、自律機能)及び脳血管の分布を説 明できる。	林良憲	A-3-1-5-3 自律神経系(交感神経系と副 交感神経系)の構造と機能を理解している。 A-3-1-5-4 中枢神経系(高次脳、脳幹、 脊髄)の構造と機能(運動機能、感覚機能、 高次神経機能、自律機能)及び脳血管の分 布を理解している。 A-3-3-3 舌の構造と機能を理解してい る。 A-3-3-4 軟口蓋の構造と機能を理解して いる。
10	AB	5月11日	4	1.結合組織 1)構成成分 2)線維性タンパク質 の構造と機能 3)非線維性マトリッ クス成分 4)RGD配列とインテ グリン 5)マトリックス金属 プロテアーゼ 6)基底膜 2.結合組織と疾患 3.硬組織(その①) 1)代謝性骨疾患 2)骨細胞 教4) pp.178-201、 pp.220-221 資料配 布	・口腔組織の大部分は結合組織であり、それぞれの組織に 固有な細胞によって合成分泌される細胞外マトリックス成 分(線維性および非線維性成分)から構成されていることを説 明できる。 ・コラーゲンの種々の型と組織内分布の特徴を説明でき る。 ・コラーゲンを構成するアミノ酸組成の特徴および生合成 の過程を説明できる。 ・エラスチンの構成成分の特徴を説明できる。 ・プロテオグリカンの構造と機能を説明できる。 ・接着性糖タンパク質の構造と機能を説明できる。 ・RGD配列とインテグリンの関係を説明できる。 ・細胞外マトリックス成分の分解は、マトリックス金属プ ロテアーゼが関与することを説明できる。 ・マトリックス成分の分解調節機構を説明できる。 ・基底膜を構成する主なコラーゲン線維及び非線維成分の 構造と機能を説明できる。 ・結合組織に起こる代表的な疾患の原因を説明できる。 ・代表的な骨疾患を説明できる。 ・骨細胞が分泌するDMP-1,FGF-23,スクレロステンの役 割を説明できる。	鈴木直人	A-1-5-1 細胞接着の機構を理解してい る。 A-1-5-3 主な細胞外マトリックス分子の 種類、構造及び機能を理解している。 A-1-5-4 主な細胞外マトリックス分子の 合成と分解を理解している。 A-3-1-2-2 結合(支持)組織の分類、構成 する細胞と細胞間質を理解している。
11	AB	5月18日	3	4.骨と歯の組成 5.骨と歯の無機成分 1)骨と歯を構成する 主要元素 2)エナメル質の無機 成分の分布 3)リン酸カルシウム の種類とCa/P比 4)リン酸カルシウム 化合物の比較 5)ヒドロキシアパ タイト結晶の構造 4.骨と歯の有機成分 1)骨の有機成分 2)歯の有機成分 3)エナメル質のタン パク質 4)象牙質に特有なタン パク質 教4) pp.202-214 資料配布	・エナメル質、象牙質、セメント質および骨の無機質、有 機質、および水分の重量%の比率を説明できる。 ・歯の硬組織を構成する主要な元素組成を説明できる。 ・骨や歯の無機成分の主成分はヒドロキシアパタイト(HA) であることを知る。 ・軟組織にも存在するMGP、オステオネクチン、OPNな どのタンパク質や、テロリンなどのプロテオグリカンの成 分の特徴や機能を説明できる。 ・幼若エナメル質に含まれるアモロゲン、エナメル、 アモロプラスチンの構造の特徴や機能を説明できる。 ・象牙質に含まれる代表的なリンタンパク質であるホスホ ホルリンの構造の特徴と機能を説明できる。	田邊奈津子	A-3-4-4 永久歯、乳歯、根未完成歯、幼 若永久歯の硬組織の構成成分、構造及び機 能を理解している。 A-3-1-2-3 骨と軟骨の組織構造と構成す る細胞を理解している。 A-3-1-2-4 骨発生(軟骨内骨化と膜内骨 化)、骨成長及びリモデリングの機序と調節 機構を理解している。 A-3-1-2-5 硬組織の成分と石灰化の機序 を理解している。
12	AB	5月18日	4	6.骨の形成と吸収 1)軟骨細胞と骨芽細 胞の分化と機能発現 の調節 2)石灰化機構 (教) pp.220-224 3)破骨細胞の分化と 機能発現の調節 7.骨リモデリング 1)骨リモデリング 2)Ca代謝調節 教4) pp.215-219、pp. 222-233 資料配布	・軟骨と骨を形成する細胞は、未分化間葉系細胞から分化 することを説明できる。 ・未分化間葉系細胞から骨芽細胞や軟骨細胞への分化は、 特定の転写調節因子によって起こることを説明できる。 ・膜性骨化と軟骨性骨化の機序を説明できる。 ・石灰化のメカニズムについての学説を説明できる。 ・破骨細胞の特徴を説明できる。 ・破骨細胞による骨吸収のしくみを説明できる。 ・骨吸収は、骨芽細胞と破骨細胞との細胞間接触によって 起こることを説明できる。 ・主な骨吸収促進因子の種類を説明できる。 ・RANKL-RANKシステムによる破骨細胞形成の分子メ カニズムを説明できる。 ・炎症性サイトカインによる破骨細胞形成と骨吸収機能調 節のしくみを説明できる。 ・骨リモデリング過程を説明できる。 ・血中カルシウム濃度調節機構の詳細を説明できる。	田邊奈津子	A-3-1-2-3 骨と軟骨の組織構造と構成す る細胞を理解している。 A-3-1-2-4 骨発生(軟骨内骨化と膜内骨 化)、骨成長及びリモデリングの機序と調節 機構を理解している。 A-3-1-2-5 硬組織の成分と石灰化の機序 を理解している。
13	AB	5月25日	3	・遺伝子発現調節 ・スプライシング ・翻訳 ・翻訳後修飾 ・エピジェネティク ス ・細胞内タンパク質 の品質管理 教4)pp.106-117, 144-146 資料配布	・遺伝子発現調節メカニズムについて説明できる。 ・スプライシングについて説明できる。 ・翻訳機構について説明できる。 ・ヒストンアセチル化およびDNAメチル化による遺伝子 発現調節について説明できる。 ・分子シャペロンによる細胞内タンパク質の品質管理を説 明できる。 ・ユビキチン-プロテアソーム系、オートファジーによる 細胞内タンパク質の分解メカニズムを説明できる。	津田啓方	A-1-2-1 アミノ酸とタンパク質の構造、 機能及び代謝を理解している。 A-1-3-2 核酸、遺伝子及び染色体の構造 と機能を理解している。 A-1-3-3 デオキシリボ核酸(DNA)複製と 修復、DNAからリボ核酸(RNA)への転 写、タンパク質合成に至る翻訳を含む遺伝 情報の発現及び調節を理解している。 A-1-4-1 真核細胞の全体像と細胞膜、 核、細胞小器官及び細胞骨格の構造と機能 を理解している。

14	AB	5月25日	4	<ul style="list-style-type: none"> 細胞分裂と細胞周期 DNAの複製機構 細胞死 幹細胞 細胞の老化 細胞内(核内)受容体 生化学実験法 教4)pp.104-105, 120-122, 141, 150-153, 156-171 資料配布 	<ul style="list-style-type: none"> 細胞分裂の流れと細胞内での出来事について説明できる。 DNAの複製機構について説明できる。 細胞死の性質と発生メカニズムについて説明できる。 幹細胞の定義を説明できる。 幹細胞(ES細胞, iPS細胞, 間葉系幹細胞)について説明できる。 テロメアの短縮とテロメラーゼの関係について説明できる。 細胞内(核内)受容体に結合するリガンドの性質について説明できる。 生化学実験法のうち、PCR法、RT-PCR法、およびWestern blot法について説明できる。 	津田啓方	<ul style="list-style-type: none"> A-1-3-2 核酸、遺伝子及び染色体の構造と機能を理解している。 A-1-3-3 デオキシリボ核酸(DNA)複製と修復、DNAからリボ核酸(RNA)への転写、タンパク質合成に至る翻訳を含む遺伝情報の発現及び調節を理解している。 A-1-4-4 細胞周期、細胞分裂及び主な細胞分化のしくみを理解している。 A-1-4-5 細胞死の種類と基本的機序を理解している。 A-1-3-5 遺伝子解析や遺伝子工学技術を理解している。 A-2-1-5 多能性幹細胞と基本的な発生学的技術を理解している。 A-2-3-2 老化に伴う細胞、組織、器官及び個体の形態的、機能的な変化を理解している。
15	AB	6月1日	3	<ul style="list-style-type: none"> 歯周組織の代謝 結合組織のリモデリング 炎症の経過 歯肉溝浸出液 唾液成分と機能 炎症時の骨破壊 教4)pp.198, 302-315 資料配布 	<ul style="list-style-type: none"> 各歯周組織の栄養・酸素供給経路と代謝について説明できる。 歯肉固有層のリモデリングについて説明できる。 歯周疾患について、炎症の経過を説明できる。 歯肉溝浸出液の発生・流出メカニズムについて説明できる。 唾液成分の構造と機能について説明できる。 歯周炎で歯槽骨の破壊が起こるメカニズムについて説明できる。 	津田啓方	<ul style="list-style-type: none"> A-1-2-2 糖質の構造、機能及び代謝を理解している。 A-1-2-4 電子伝達系と酸化的リン酸化を理解している。 A-1-5-1 細胞接着の機構を理解している。 A-1-5-2 受容体を介するホルモン、成長因子、サイトカイン等による細胞間及び細胞内の情報伝達機構を理解している。 A-1-5-3 主な細胞外マトリックス分子の種類、構造及び機能を理解している。 A-3-1-1-2 皮膚と粘膜の基本的な構造と機能を理解している。 A-3-1-2-4 骨発生(軟骨内骨化と膜内骨化)、骨成長及びリモデリングの機序と調節機構を理解している。 A-3-3-6 唾液の性状、構成成分及び機能を理解している。 A-4-2-1 自然免疫を担当する細胞の種類と機能を理解している。 A-4-2-2 獲得免疫を担当する細胞の種類と機能を理解している。 A-5-5-1 炎症の定義と機序を理解している。 A-5-5-2 炎症に関与する細胞の種類と機能を理解している。 A-5-5-3 滲出性炎の種類、形態的特徴及び経時的変化を理解している。 D-3-2-3 歯周疾患の病因と病態を理解している。 D-3-2-4 口腔細菌、プラーク(口腔バイオフィルム)及び歯石を理解している。
16	AB	6月1日	4	<ul style="list-style-type: none"> 三叉神経(1) 1)三叉神経の分布域 2)三叉神経と脳神経核 3)三叉神経の枝 教5)pp.451-459, 496-503, 507-513 資料配布 	<ul style="list-style-type: none"> 三叉神経の支配領域について説明できる。 三叉神経が関係する脳神経核の種類と機能について説明できる。 三叉神経の枝の種類と機能について説明できる。 	高橋富久	<ul style="list-style-type: none"> A-3-2-4 吸嚥、咀嚼、嚥下機能を担う筋の構造と機能、支配神経を理解している。 A-3-2-6 頭頸部の脳神経の走行と分布、核の局在、線維構成、神経節を理解している。 A-3-2-7 頭頸部の自律神経の走行と分布を理解している。
17	AB	6月8日	3	<ul style="list-style-type: none"> 三叉神経(2) 1)上顎神経の枝 2)上顎神経と歯 3)翼口蓋神経節 教5)pp.451-459, 496-503, 507-513 資料配布 	<ul style="list-style-type: none"> 上顎神経の枝の種類と走行について説明できる。 上顎神経と歯の関係について説明できる。 翼口蓋神経節の線維連絡について説明できる。 	高橋富久	<ul style="list-style-type: none"> A-3-2-4 吸嚥、咀嚼、嚥下機能を担う筋の構造と機能、支配神経を理解している。 A-3-2-6 頭頸部の脳神経の走行と分布、核の局在、線維構成、神経節を理解している。 A-3-2-7 頭頸部の自律神経の走行と分布を理解している。
18	AB	6月8日	4	<ul style="list-style-type: none"> 三叉神経(3) 1)下顎神経の枝 2)下顎神経が支配する筋 3)下顎神経と歯 4)耳神経節と顎下神経節 教5)pp.451-459, 496-503, 507-513 資料配布 	<ul style="list-style-type: none"> 下顎神経の枝の種類と走行について説明できる。 下顎神経と筋の関係について説明できる。 下顎神経と歯の関係について説明できる。 耳神経節と顎下神経節の線維連絡について説明できる。 	高橋富久	<ul style="list-style-type: none"> A-3-2-4 吸嚥、咀嚼、嚥下機能を担う筋の構造と機能、支配神経を理解している。 A-3-2-6 頭頸部の脳神経の走行と分布、核の局在、線維構成、神経節を理解している。 A-3-2-7 頭頸部の自律神経の走行と分布を理解している。
19	AB	6月15日	3	<ul style="list-style-type: none"> 三叉神経(4) 1)上行性の神経路 2)下行性の神経路 教5)pp.451-459, 496-503, 507-513 資料配布 	<ul style="list-style-type: none"> 上行性神経路(感覚路)と下行性神経路(運動路)の概要について説明できる。 三叉神経が関係する感覚路と運動路について説明できる。 	高橋富久	<ul style="list-style-type: none"> A-3-2-4 吸嚥、咀嚼、嚥下機能を担う筋の構造と機能、支配神経を理解している。 A-3-2-6 頭頸部の脳神経の走行と分布、核の局在、線維構成、神経節を理解している。 A-3-2-7 頭頸部の自律神経の走行と分布を理解している。

20	AB	6月15日	4	細胞の損傷 循環障害 代謝障害 教4) pp.13-32, 165-189, 137- 151 (2年時に使用 した講義資料を持 参)	<ul style="list-style-type: none"> ・萎縮、変性、壊死などの退行性病変について説明できる。 ・充血、うっ血、虚血や血栓、塞栓などについて説明できる。 ・糖尿病や脂肪変性などについて説明できる。 	角田麻里子	<p>A-5-5-1 炎症の定義と機序を理解している。</p> <p>A-5-5-2 炎症に関与する細胞の種類と機能を理解している。</p> <p>A-5-5-3 滲出性炎の種類、形態的特徴及び経時的変化を理解している。</p> <p>A-5-5-4 肉芽腫性炎の種類、形態的特徴及び経時的変化を理解している。</p> <p>A-5-5-5 炎症の全身反応を理解している。</p>
21	AB	6月22日	3	炎症 形態学的分類 特異性炎 炎症のプロセス教 4) pp.33-36, 58-66 (2年時に使用 した講義資料を持 参)	<ul style="list-style-type: none"> ・炎症の形態学的分類について説明できる。 ・特異性炎の種類と特徴について説明できる。 ・炎症のプロセスについて、急性炎症と慢性炎症の違いを説明できる。 	山本安希子	<p>A-5-6-1 腫瘍の定義、病因及び発生機序を理解している。</p> <p>A-5-6-2 腫瘍の増殖、浸潤、再発及び転移を理解している。</p> <p>A-5-6-3 細胞異型と構造異型、腫瘍の組織学的分化度及び用語(前癌病変、上皮内癌、早期癌等)を理解している。</p> <p>A-5-6-4 良性腫瘍と悪性腫瘍の異同を理解している。</p> <p>A-5-6-5 腫瘍の組織学的分類と特徴を理解している。</p> <p>A-5-6-6 上皮性異形成を理解している。</p>
22	AB	6月22日	4	腫瘍 定義 分類 異型性と分化度教 4) pp.239-255 (2年時に使用した 講義資料を持参)	<ul style="list-style-type: none"> ・腫瘍とはどのような疾患か説明できる。 ・腫瘍の生物学的および発生母組織による分類を説明できる。 ・異形成の種類と腫瘍の分化度との関係を説明できる。 	福井 伶	<p>A-5-2-1 細胞傷害と組織傷害を理解している。</p> <p>A-5-2-2 変性と関連疾患の病態を理解している。</p> <p>A-5-2-3 疾患における壊死とアポトーシスを理解している。</p> <p>A-5-2-4 萎縮と仮性肥大を理解している。</p> <p>A-5-2-5 代謝障害と関連疾患の病態を理解している。</p> <p>A-5-4-1 虚血、充血及びうっ血の徴候、原因、転帰及び関連疾患を理解している。</p> <p>A-5-4-2 出血の原因、種類及び転帰を理解している。</p> <p>A-5-4-3 血栓と塞栓の形成機序、形態的特徴、転帰及び関連疾患を理解している。</p> <p>A-5-4-4 梗塞の種類、形態的特徴、転帰及び関連疾患を理解している。</p> <p>A-5-4-5 浮腫の原因と転帰を理解している。</p> <p>A-5-4-6 ショックの成因と種類を理解している。</p>
23	AB	6月29日	3	材料の性質、種類および構造 教7)pp.1-5, 7-26, 27-64 資料配布	<p>歯科医療機器(歯科材料・器械・器具)の所要性質と用途を説明できる。</p> <p>材料の物理的(力学的性質と熱的性質を含む)、化学的(溶解性を含む)、生物学的(生体活性、副作用を含む)性質とその評価法を説明できる。</p>	小泉寛恭	<p>B-1-1 材料(生体組織を含む)の物理的(光学的、機械的性質を含む)性質を理解している。</p> <p>B-1-2 材料の化学的性質を理解している。</p> <p>B-1-3 材料の生物学的性質(生体活性、安全性)を理解している。</p> <p>B-3-1 歯科用材料の成形、加工(切削、焼結、重合、鋳造、溶着等)の原理を理解している。</p> <p>B-3-2 歯科用機器の種類、構成、原理、特性及び使用方法を理解している。</p> <p>B-3-3 歯科用検査装置の種類、構成、原理、特性及び使用方法を理解している。</p> <p>B-3-4 成形・加工用機器(デジタル成形加工を含む)の種類、構成、原理、特性及び使用方法を理解している。</p>
24	AB	6月29日	4	印象用材料 模型用材料 義歯床用材料 成形 修復材料 教 7)pp.117-147, 149-155, 273- 306, 73-104 資料 配布	<p>印象・模型・義歯床用・成形修復用材料の種類、用途、成分・組成、特性、操作方法を説明できる。</p>	小泉寛恭	<p>B-2-1 成形修復・歯冠修復用材料の種類、成分、特性、用途及び操作方法を理解している。</p> <p>B-2-2 義歯用材料の種類、成分、特性、用途及び操作方法を理解している。</p> <p>B-2-3 接着用材料の種類、成分、特性、用途及び操作方法を理解している。</p>
25	AB	7月6日	3	予防歯科材料 歯科用 器械 切削・研削・研 磨材料 教7)pp.65- 71, 335-57, 374, 359-73 資料 配布	<p>予防歯科・歯科用器械・切削・研削・研磨用材料の種類、用途、成分・組成、特性、操作方法を説明できる。</p>	小泉寛恭	<p>B-2-1 成形修復・歯冠修復用材料の種類、成分、特性、用途及び操作方法を理解している。</p> <p>B-2-2 義歯用材料の種類、成分、特性、用途及び操作方法を理解している。</p> <p>B-2-3 接着用材料の種類、成分、特性、用途及び操作方法を理解している。</p>

26	AB	7月6日	4	歯科用金属材料 歯科鑄造工程とパターン材、技術 教 7)pp.165-193, 157-164, 198- 221 資料配布	歯科鑄造用材料の種類、用途、成分・組成、特性、操作方法を説明できる。	小泉寛恭	B-2-1 成形修復・歯冠修復用材料の種類、成分、特性、用途及び操作方法を理解している。 B-2-2 義歯用材料の種類、成分、特性、用途及び操作方法を理解している。 B-2-3 接着用材料の種類、成分、特性、用途及び操作方法を理解している。
27	AB	7月13日	3	接着・合着材料 歯冠補綴用レジン 歯冠用セラミックス 教 7)pp.253-71, 243-52, 223-42 資料配布	接着・合着・歯冠補綴用レジン・歯冠用セラミックス材料の種類、用途、成分・組成、特性、操作方法を説明できる。	小泉寛恭	B-2-1 成形修復・歯冠修復用材料の種類、成分、特性、用途及び操作方法を理解している。 B-2-2 義歯用材料の種類、成分、特性、用途及び操作方法を理解している。 B-2-3 接着用材料の種類、成分、特性、用途及び操作方法を理解している。
28	AB	7月13日	4	インプラント用材料 矯正用材料 歯内療法用材料 歯科材料の機械的性質 教 7)pp.307-24, 325-34, 105- 16, 325-34 資料 配布	インプラント・歯科矯正・歯内療法用材料の種類、用途、成分・組成、特性、操作方法を説明できる。 歯科材料の機械的性質を説明できる。	小泉寛恭	B-2-4 歯科矯正用材料の種類、成分、特性、用途及び操作方法を理解している。 B-2-5 歯内療法用材料の種類、成分、特性、用途及び操作方法を理解している。 B-2-6 口腔インプラント、口腔外科、歯周治療用材料の種類、成分、特性、用途及び操作方法を理解している。